

Cente Technical Information

発行番号	002-0016	Rev	第1版	発行日	2013/07/19
題名	IPv4DHCPの更新が失敗すると自IPv6アドレスがクリアされる現象について				
情報分類	障害情報				
適用製品	<ul style="list-style-type: none">・Cente IPv6 Ver.1.11 - Ver.1.43・Cente IPv6 SNMPv2 Ver.2.00 - Ver.2.13・Cente IPv6 SNMPv3 Ver.2.00 - Ver.2.13				
関連資料	なし				
<p>【該当するユーザ環境】 IPv6を使用し、同時にIPv4のIP取得モードをDHCPに設定しているユーザ。</p> <p>【障害内容】 IPv4のDHCPでは、リース(IPアドレス貸出し)時間満了の前に、リース時間の延長を要求する機能(renew、rebind)があります。運用中にDHCPサーバが再起動した場合など、renew、rebindに対してサーバからNAK(拒否)を受信することがあり、その場合は再度DHCP取得シーケンスを実行しています。renew、rebindに対してDHCPサーバから応答がなく、リース時間が満了した場合も同様です。本障害は、これらのDHCP再取得シーケンス実行以降、IPv6通信できない状態となるものです。</p> <p>【発生理由】 renew/rebind/リース時間満了時に一旦IPのI/Fをクローズしていましたが、その際に自IPv6アドレスも全てクリアしていました。自IPv4アドレスはその後のDHCP再度取得シーケンスによって決定していましたが、自IPv6アドレスの決定シーケンスは再実行しておらず、そのままの状態になっていました。</p> <p>【回避方法】 回避には、ソースコードの変更が必要です。 (変更箇所については、営業担当またはsupport@cente.jpまでお問い合わせください。)</p> <p style="text-align: right;">以上</p>					